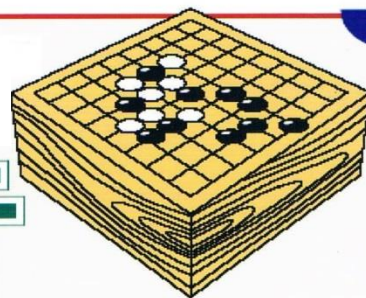


会報 第23号 平成26年9月1日
 栄区囲碁ファンにおくる囲碁情報紙

さかえの石音

いしおと



栄区囲碁普及会・栄区囲碁連盟・日本棋院横浜栄支部

小学校に囲碁普及さらに拡大へ!

- ◆ **子供に囲碁を** 年頭の杉浦会長の「子供たちに囲碁を学ぶ機会をこれまで以上に増やしたい」との抱負を受け、活動を強化し再スタートした。
- ◆ **小中学校へアタック** 4月以降、今井インストラクターを中心に栄区内全14校の関係者を訪問、クラブ活動やはまっ子ふれあいスクールの状況を確認し囲碁教室開設を要請した。



はまっこ教室風景



小学校名	対象	学童数	状況	サイクル
飯島	クラブ活動	10	継続	火曜日1回
笠間	クラブ活動	19	準備中	
桂台	はまっ子		未定	
西本郷	はまっ子	29	継続	月曜毎週
上郷	はまっ子		未定	
小菅ヶ谷	キッズ	20	継続	月2回
桜井	キッズ		未定	
千秀	はまっ子		未定	
豊田	はまっ子	24	継続	火曜(毎週)
庄戸	キッズ	40	継続	火曜(毎週)
小山台	はまっ子	9	継続	毎週1回
本郷台	はまっ子	13	継続	月曜(毎週)
本郷	はまっ子	20	5月開始	木曜(毎週)
公田	はまっ子	25	継続	水曜(毎週)



平成26年7月末現在

- ◆ **学校指導員の増員** 本年に入り、日本棋院が推進している学校囲碁指導員講習会に3回にわたり述べ46人が参加、指導員の資格を取得。

- ◆ **嬉しかった** 「児童から“面白いね!”一言が聞けたのがうれしかった」とは、初めて担当したインストラクターの弁。
- ◆ **課題** 普及会も学校側が求める曜日時間帯に派遣できるインストラクターに限界があり、新たな多くのボランティアを必要としている。又、囲碁用具の調達も推進していくうえでネックとなっている。(普及会では現在も協力要員を募っている。

10回栄こどもとおとなの囲碁大会

7月21日・あーすぷらざ

- ◆ **繁ぎました・記念第10回大会** 平成16年69名の参加者を得て開催された第1回大会から数えて10回目の記念大会、参加者も117名と増え大会を支えた。
- ◆ **鎌倉からも** 共に研鑽に励む鎌倉の西鎌倉囲碁教室、鎌倉囲碁倶楽部からも40名余が参加し、盛り上げた。↓試合の合間に寛ぐ鎌倉からの皆さん



児童の成績優秀者には金メダルが手渡された。

- A 中島裕介・5級
- B 村上日菜子・8級
- C 栗原 捷・17級
若林実咲・18級
- D 加藤龍蘭・25級

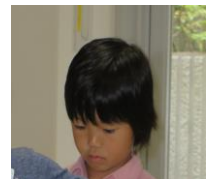


◆ 囲碁入門教室に

20名を超す親子連れが参加し白井、道休両講師の話に熱心に聞き入っていた。講義の後は、恒例の連碁を楽しんだ。



- ◆ **初級教室から初の入段者** 初段位を獲得した本中日曜教室の近藤昌之さんを含め43名が昇級した。 ↓認定を受ける近藤さんと対局風景



- ◆ **来賓からの祝辞** 来賓としてご出席頂いた尾仲栄区長を始め栄区囲碁団体、鎌倉囲碁団体等の方々から祝辞が寄せられた。



- ◆ **大会終わって**青井実行委員長のもと囲碁普及会のメンバー50人が大会運営を支えた。教え子の自慢話や囲碁談議、だれからも成功裏に終わった大会にほっとしている様子が伺えた。



「第13回段級位認定会」・「親子囲碁教室」日本棋院横浜栄支部

6月15日（あーす・ぷらざ）

黒瀧七段・新海五段の両プロ棋士を招聘し
13回目を迎えた日本棋院横浜栄支部の「段級位認定会」は単に認定会にとどまらずこどもから大人まで囲碁愛好家がプロ棋士と身近に接することのできる催しもの一つとなってきた。



←黒瀧正憲七段



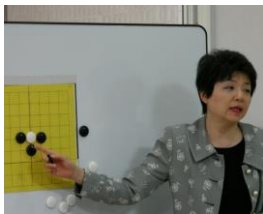
新海洋子五段→

◆ **段級位認定会** 51名が昇段昇級に挑戦、清水昭、小林勇、川名敏靖の3氏が二段位を、宮川誠、山下信矢、山田庫三、有本恵美子の4氏が初段位を獲得した。



清水昭さん

◆ **親子囲碁教室** 新海五段プロ棋士講師のもと30余名の親子が参加、熱心に聞き入っていた。習ったことを早速連碁で腕試し。



◆ **普及会移動囲碁教室** 上郷・豊田・本中の3初級教室から17人が参加し開催された。肥塚六段の詰碁の解き方、新海五段プロ棋士の隅の定石解説の講義を受けた。



↑肥塚六段の講義

難問に苦戦の受講生→



◆ **プロ棋士指導碁など** 黒瀧、新海両プロ棋士にまずは一勝を！と20人が挑戦。



プロ棋士による指導碁↑

←アマ高段者による指導碁

◆ **会場風景**



↑熱の入る対局者

↓大盤解説に聞き入る囲碁愛好者



←
認定証授与



終了後の記念写真

◆ **予告 第2回栄ペア碁大会**

日時： 平成26年9月15日（月）

場所： あーすぷらざ 大会議室

日本棋院横浜栄支部主催で開催される第2回栄ペア碁大会は、県大会代表選抜を兼ねる大会です。日本棋院から派遣されるプロ棋士による大盤解説や指導碁も予定されています。

栄区囲碁界情報

【栄区囲碁普及会】

○第16期新会員の紹介：H26年8月現在（敬称略）
“皆様、宜しく願い申し上げます”

田口進（本郷水曜）小谷和雄（本郷土曜）三室勉、橋本勝、高橋憲吾、川名敏靖、高尾典生、品澤克博、小林清（以上上郷金曜）池田茂（豊田水曜）前野昌彦（本中日曜）間中和子（未定）

○豊田水曜教室【上達コース】：新しい陣容で再スタートしました。（6月）

◇チーフ：生出二三明◇サブチーフ：池田茂、清水広中、森安恒夫◇インストラクター：権正茂、山田文男、岩田繁雄、遠藤美子



○上郷金曜教室【上達コース】

インストラクターの棋力向上と親睦を目的に『上郷金曜教室 囲碁会』を立ち上げた。第1回例会（5/19）には17人が参集し熱戦が繰り広げられた。



☆H26年度 楽碁会<後期>各部会大会成績

部会	クラス	優勝	準優勝	三位
本郷 7/12	A	酒井 巧	村上信男	興野富男
	B	小田武史	安田 隆	田中建一
	C	松井康博	中沢国夫	大橋 章
	D	諸星剛一	済間雅子	吉田忠夫
上郷 7/25	A	石橋弘彦	安田 隆	小田泰生
	B	三浦武久	小野健一	片山貴道
	C	有本恵美子	高木 章	浦 敦
豊田 7/23	A	生出二三明	西田達平	坂田保夫
	B	山田庫三	今井憲三	大野 栄
	C	西塚 勝	須藤忠和	古門昭生
	D	池田三男	若山博之	矢野博司

【編集後記】親子囲碁入門教室や認定会、こどもとおとなの囲碁大会などの行事を通し、才能を覗かせた子供達をみてきた。再出発した学童への囲碁普及により多くの人達に参加して貰える事を願っている。

【栄区囲碁連盟】

○第126回横浜市各区囲碁連盟対抗戦

（6月8日、会場：神奈川新聞社）
 1チーム6人（佐野5段、計良5段、原三段、村山初段、小谷1級、吉田4級）で参加したが栄区は残念ながら1勝3敗。しかし計良五段、原三段、村山初段が3勝1敗で健闘した。なお優勝チームは都筑区でした。

○第5回横浜市囲碁級位認定大会

（6月15日、会場：反町横濱囲碁サロン）
 各区囲碁連盟から推薦を受けた級位者が40名参加。栄区からは参加者と成績は次の通り。
 大内潤仁1級（2勝2敗）、齊藤脩平1級（2勝2敗）、吉田忠夫4級（1勝3敗）

○14年度栄区囲碁連盟会員囲碁大会（6月21日）

クラス	優勝	準優勝	三位
A	樋口喬之	田中圭亜	肥塚淳次
B	三箇 豊	高橋定夫	山本孟生
C	椿 實	村山喜三郎	安富勝彦

★特報：TV取材を受けたジョンソン紗希君

上達コースのジョンソン君がTV取材を受けました。4月26日TV朝日のカメラが入り6月28日10:50（5ch.）放映されました。松岡修造氏（元プロテニスプレーヤー）主演の「修造学園」に参加したジョンソン君が、参加理由に“勉強中の囲碁でもっと集中力を身に着きたい”と答えたことから、勉強中の本郷土曜教室に取材が入りました。



計報：須賀義夫氏（三段）95才

須賀氏は、栄区誕生（昭和61年11月）と同時に栄区囲碁連盟設立に奔走され、初代会長を務められました。今日の栄区囲碁界の普及・発展はまさに須賀氏の努力の賜物と言って過言ではないでしょう。ご冥福をお祈り申し上げます。



- ◆編集委員：牧野博、道休俊和、白井道雄、山中正巳、佐藤中勇、興野富男、小田武史、
- ◆発行者：杉浦次利（栄区囲碁普及会々長）